

# ハンドブック ワンポイント レッスン

## 知っておきたい規則とルール

### Question

中学校の顧問です。先日の新人大会（団体戦）で、正審がカウントのコールをしないうちに相手校がサービスを行ないました。レシーブ(当校)をするプレーヤーはこれに応じてレシーブをしてインプレーの状態になってしまい、サービスをした側がポイントを取りました。生徒は何も言いませんでした。わたしもルールに詳しくないので何もしませんでしたのでアンパイヤーはカウントのコールをして次のポイントに入ってしまった。正審がカウントのコールをしないのにインプレーになった場合どうしたらいいのでしょうか。

### Answer

サービスの成立条件は正審のコールとレシーバーに用意が出来ていることの2つ

中学校の大会では生徒がお互いに審判をしていてよくある事例です。まず、サービスの成立条件には2つあり、その1つが正審のコールがあること。2つ目は、レシーバーに用意が出来ていること。この2つの条件が整って初めてサービスが有効になります。そこで、ご質問にあるように、正審のコールがないのにサービスを行って、いかにもインプレーになった様に思いますが、この時点ではプレーは成立していません。正審はコールをしていないことに気付いていないので、団体戦は監督さんか、プレーヤーのどちらか一人が、正審にコールがなかったことを質問することです。正審は質問を受けてコールをしていないことを認めて、初めてこのサービスはレットとなり、そのサービスをやり直すこととなります（競技規則第21条及び【解説8】）。

次に、コールがなかったことに気付かないで決着がつ

き、正審がカウントのコールをして次のポイントに入ってしまうと、レットになるはずのポイントが有効になってしまいます。正審のコールがなかったことに気付いたが何時質問をすればよいのか分からなかった。と言うのが正直なところかもしれません。

この質問は、決着がついて正審から次のコールがあって、サービスをする為に手からボールが離れる瞬間までの時間に質問をされることが有効範囲となっています。そのことは、【解説19】の後半の「次のポイントとは、…」に説明がしてあります。ルール（ハンドブック）を理解している者と知らない者の違いは、勝ち・負けに影響しますので、研修研鑽に努力して下さい。

正審がカウントのコールをしないのにインプレーになったけどどうしよう。



#### 【関連規則】

##### 競技規則第21条（サービスの時期）

サービスは正審のコールがあった後、レシーバーに用意ができていることを確認して、すみやかに行わなければならない。

【解説8】 サービスを行うに当たり、次の2つの前提条件がある。

1. 正審のコール（カウントのコール・レット或いはフォアートのコール等）があったこと。

2. レシーバーの用意ができていることを確認すること。

この2つのうち1つでも欠けていたら、そのサービスはレットとなる。したがって、正審はサービスのイン・フォアルトにかかわらず「レット」とコールをしなければならない。サービスを行うプレーヤーは、上記の2つの条件が整ってからサービスを行わなければならない。

##### 競技規則第40条（異議の申し立ての禁止）

2. プレーヤーはアンパイヤーに対して質問をすることを妨げるものではない。ただし、質問に対する結果については、前項の規定を適用する。

【解説17】

4. 質問、提訴は個人戦のときはプレーヤー、団体戦のときはチームの監督（コーチを含む）又はそのプレーヤーのいずれかがアンパイヤーに申し立てることが出来る。

審判規則第14条（再判定）及び【解説25】

審判規則第15条（判定の誤り）